

平成28年度 立川市子ども委員会活動報告『あいさつ』部会

私たちは、立川市があいさつであふれ、明るく元気な街にしたいという思いから、『あいさつ』をテーマに一年間活動をしてきました。

◇身近であいさつをしている人はどのような人か。

自分たちの身近であいさつをしている人、していない人を調査しました。あいさつをしている人はPTAの方、シルバーさん、先生方、青少健の方などでした。反対に、あいさつをしていない人は、恥ずかしがり屋な人、元気がない人、知人ではないからあいさつをしない人などでした。

調査したことをふまえ、自分たちに何が出来るのかを話し合い、活動目的を「あいさつをして交流を深め街を明るくしよう」と決め、自分たちで実際に「あいさつ運動」を行うことにしました。

◇立川市青少年健全育成栄町地区委員会 原田委員長を招き「あいさつ運動」

についてお話を伺いました。

あいさつ運動を年間スローガンに掲げている栄町青少健 原田委員長をお招きし、お話を伺いました。

- ・あいさつ運動の歴史
 - ・あいさつ運動中に気をつけていること
 - ・あいさつ運動を始めた頃と今の違い
 - ・あいさつを返してもらえない人に、返してもらうようになるにはどうしたら良いか。
- など様々なアドバイスをいただきました。



写真) 講義の様子

◇あいさつ運動の実施

講師よりお話いただいたことを活かし、実際に立川駅北口・南口ペDESTリアンデッキにて、各1回あいさつ運動を行いました。自分たちで描いたポスターを掲示し「こんにちは！」と元気良く、道行く人へあいさつしました。

あいさつ運動をして感じたことは、あいさつを返してくれた方は、インタビューにも応じてくれて、あいさつがとても好きそうでした。反対に、返してくれなかった方は、恥ずかしがったり、忙しそうにされていた方が多かったです。



写真左) あいさつ運動の様子



写真右) インタビューの様子

◇あいさつについて、インタビューの実施

あいさつ運動と同時に、あいさつについてインタビューを行いました。10～20代の方や子連れの親子さんがより多くあいさつを返してくれ、インタビューにも応じていただきました。

～インタビュー結果（一部抜粋）～

Q、あいさつ運動を知っていますか？

はい	33	いいえ	28
----	----	-----	----

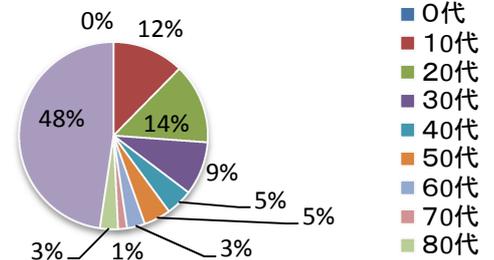
Q、あいさつ運動に参加したことはありますか？

はい	15	いいえ	18
----	----	-----	----

Q、あいさつをされたことにどう感じましたか？

気持ちがいい	10	さわやかな気持ち	3
元気があって感じが良い	3	かわいい	1
あいさつがたりない	1		

インタビューに応じていただいた人数(61名)



◇あいさつを広めるために必要なこと

あいさつ運動を終え、あいさつを広めるために、何が必要なのかを改めて考えました。あいさつを広めるためには、あいさつ運動を様々な場所で行い、より多くの人にあいさつを知ってもらうことが必要だと考えました。また、あいさつ運動の啓発ポスターを貼る、あいさつを気軽に行う事ができるイベントを実施していくことも考えました。

◇具体的な活動

①あいさつポスター週間

学校などの施設で、月間または週間であいさつの目標を作り、ポスターにして貼り出すことで、ポスターを見た人があいさつを意識するようになり、あいさつを広げていく。

②あいさつウォークラリー

参加者同士は、必ずあいさつを交わすことをルールに市内を歩き、スタンプを集めながらゴールに向かうなどのイベントを実施することで、気軽にイベントに参加でき、楽しみながらあいさつを身につけることができると考えます。

◇年間のまとめ

私たちは、年間を通してあいさつについて考え、知り、その大切さを学びました。立川市をもっと明るく元気な街にするためには、あいさつが必要だと感じました。

初めは少人数でも、家族や友達にあいさつを続けることで、あいさつはどんどん広がっていきます。しかし、それだけでは、近くの人にしか広まらないかもしれません。そこで、ポスターやイベントなどを実施し、あいさつを身近なもの意識することで、知人だけではなく、周りの人にあいさつをしていくことができれば、より広がっていくと考えます。

そこで、私たちは、子ども委員会として立川市に2つの提案をします。

～提案～

1. あいさつポスターの掲示

(週間・月間であいさつの目標を決め掲示する。)

2. あいさつに関するイベントの実施

(あいさつウォークラリーなど)

以上